

脳卒中の種類

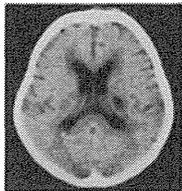
脳卒中

血管が詰まるタイプ

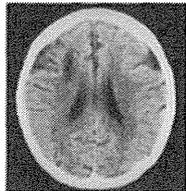
一過性脳虚血発作

脳梗塞

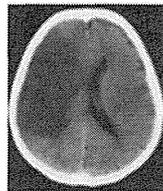
ラクナ梗塞



アテローム
血栓性脳梗塞

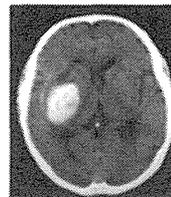


心原性
脳塞栓症

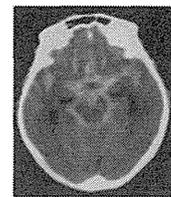


血管が破れるタイプ

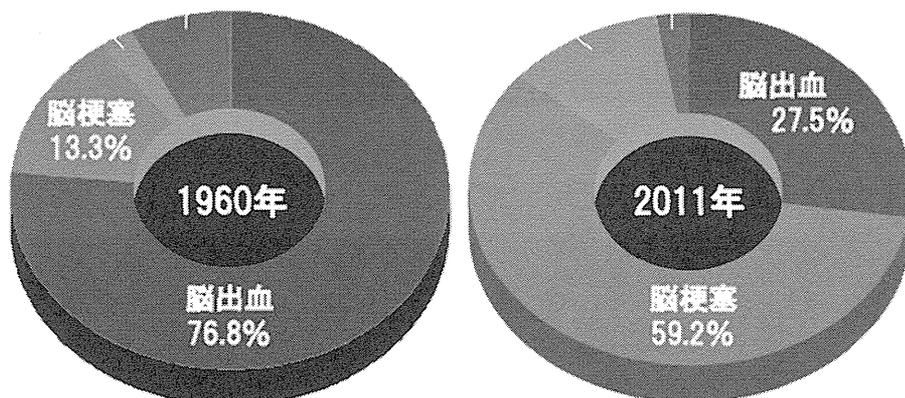
脳出血



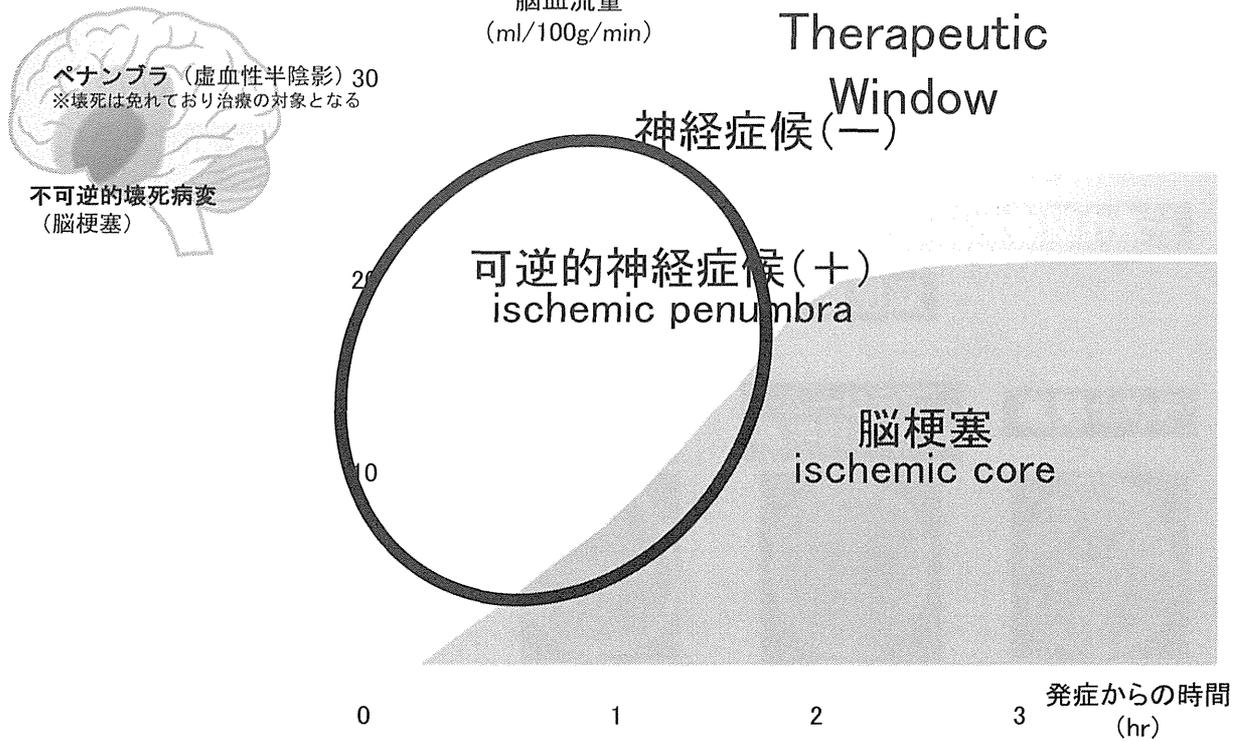
くも膜下出血



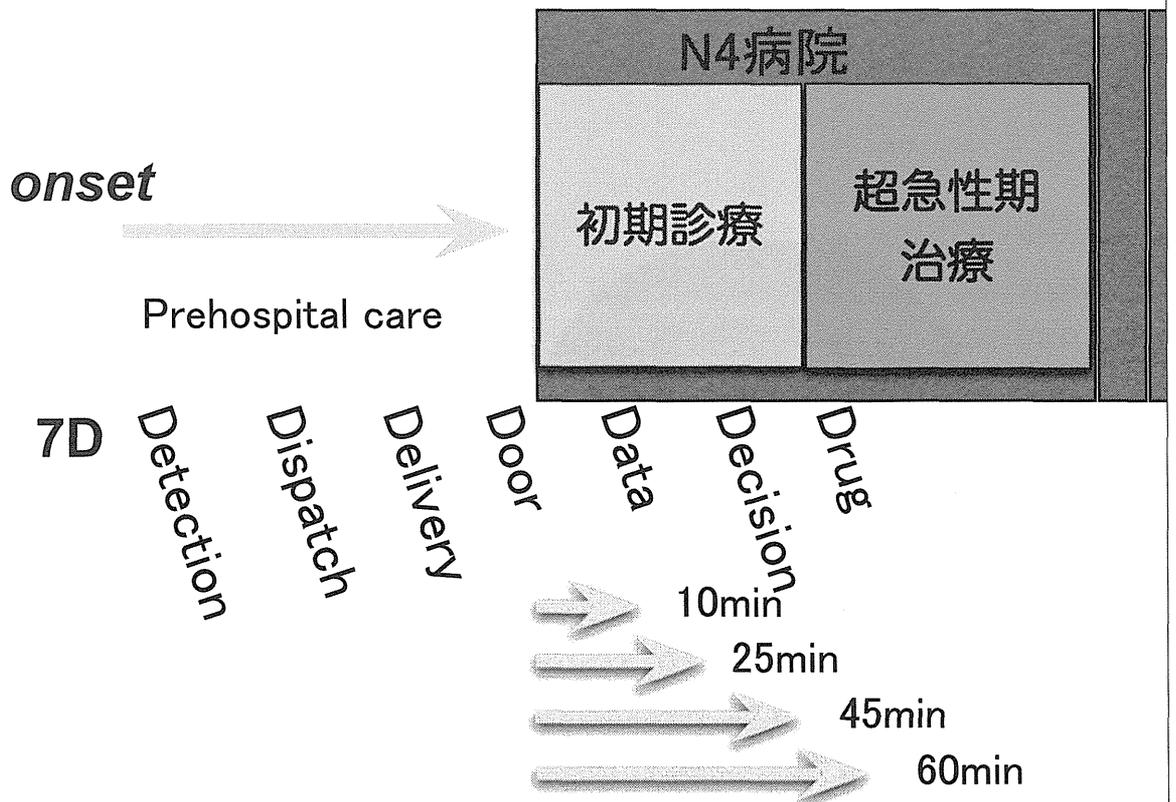
脳卒中の主演は脳出血から脳梗塞へ



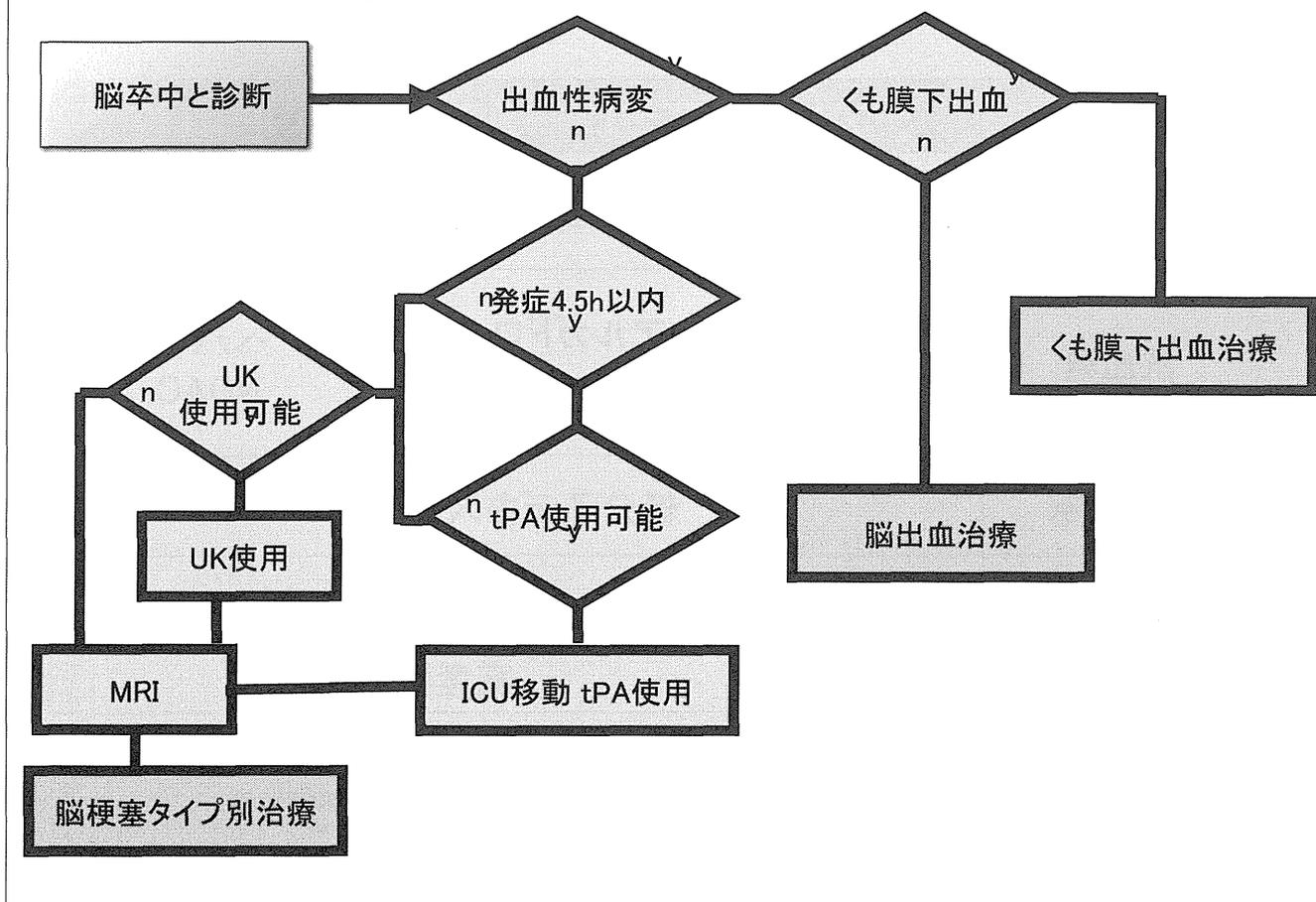
脳梗塞治療 Therapeutic Window



脳卒中超急性期診療に求められる時間



脳卒中診療；初期診療から急性期治療



脳卒中超急性期治療

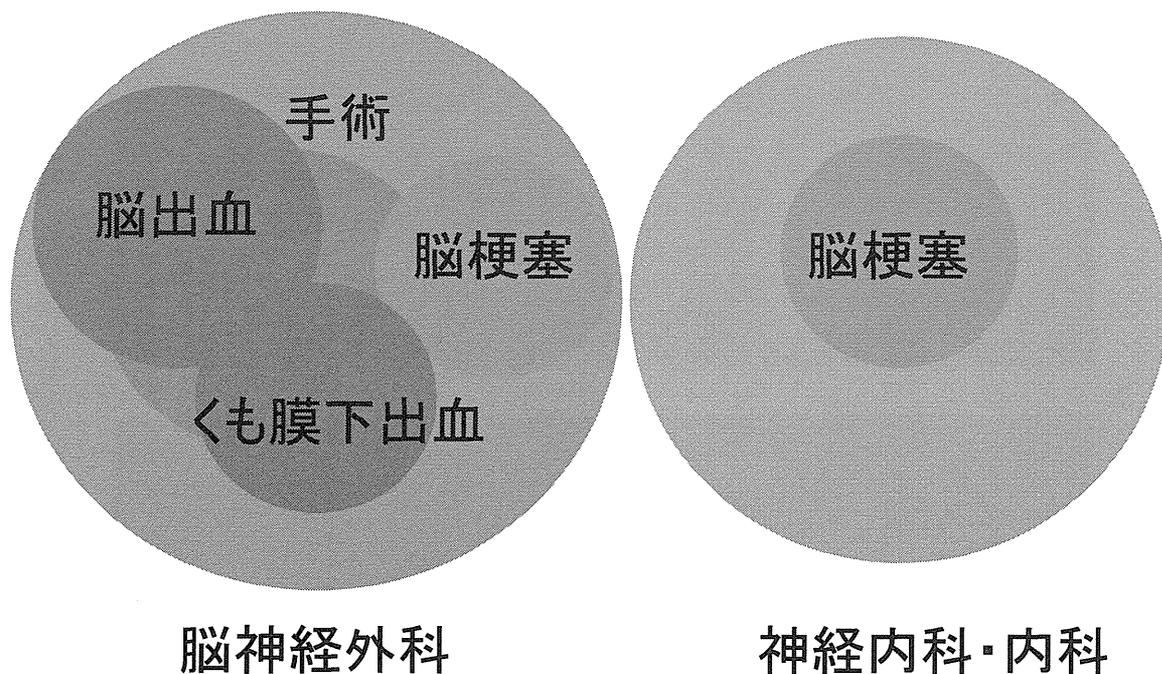
- ・出血性疾患
再出血(= 脳の破壊を助長すること)を防止。
- ・閉塞性疾患
超急性期(3時間以内)はいまだ梗塞に陥らずに
可逆的神経症候を呈している部位がある。(全体ある
いは部分的に)
そこをpreserveできる可能性がある。

脳梗塞急性期治療治療

		ラクナ	アテローム血栓	心原性
脳保護		エダラボン		
抗血栓		オザグレール	アルガドロバン	ヘパリン NOACs
		クロピドグレール, アスピリン		
血液希釈		低分子デキストラン		
脳浮腫	Gly	(一)	脳浮腫例は多めに	
	Man	(一)	高度脳浮腫例	
外科的治療		(一)	減圧開頭術 緊急CEA, Stenting	

当院の脳卒中診療体制の変遷

当院の脳卒中治療体制 ～2011年



当院の脳卒中治療体制の問題点 ～2011年

- ・ 神経内科医が1名のみ。
- ・ 脳神経外科医はon call体制。
- ・ 脳卒中の6割をしめる虚血性脳血管障害の多くを非専門家である一般内科医が診療にあたっている。
- ・ 病型分類がなされておらず、治療、急性期リハビリテーションの実施がバラバラ。
- ・ tPA適応例は初療内科医が判断して脳神経外科医call。
- ・ 時に脳卒中救急を断り、その結果、stroke bypassを受け始めていた。

脳卒中センターの設立

目的

下記の方法で脳卒中診療の質を向上をはかる

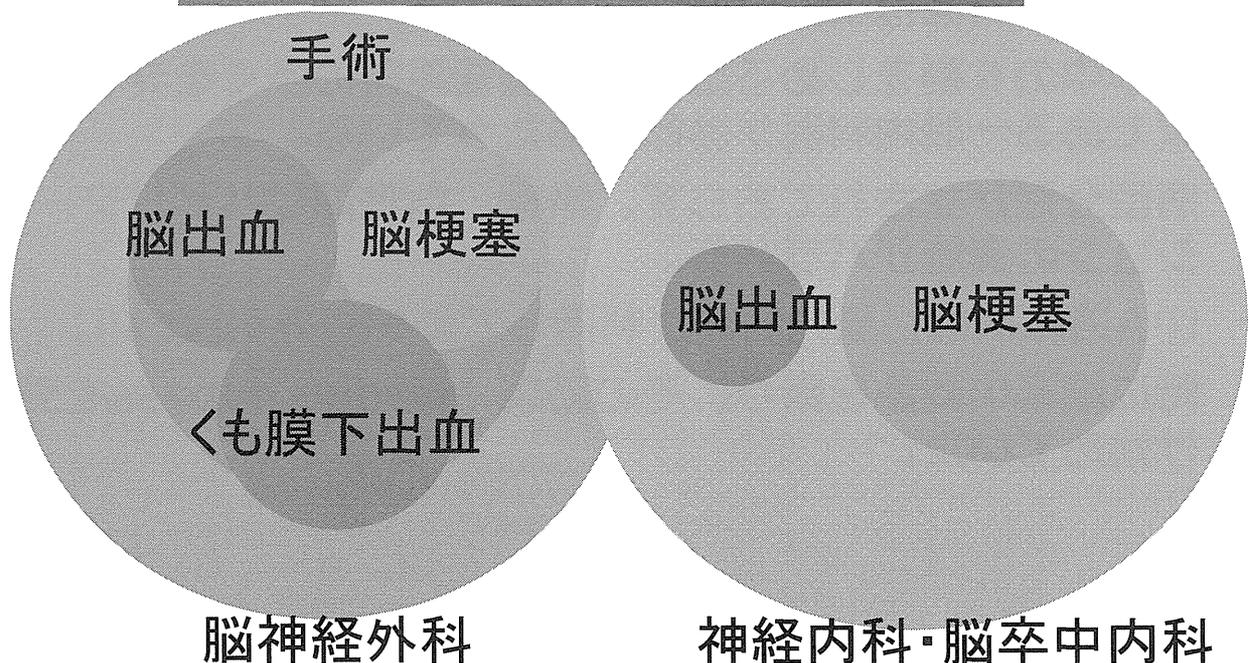
- ・ 脳卒中治療の均てん化
- ・ 早期リハビリテーションの開始
- ・ 後方連携へのシームレスな移行

方法

- ・ 脳卒中治療医の24時間在院
- ・ 24時間MRI稼働による病型分類
- ・ 脳梗塞治療の標準化

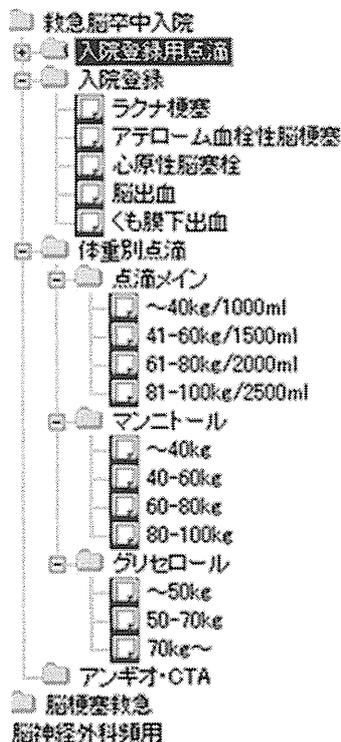
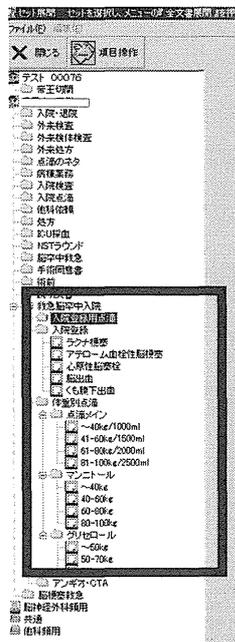
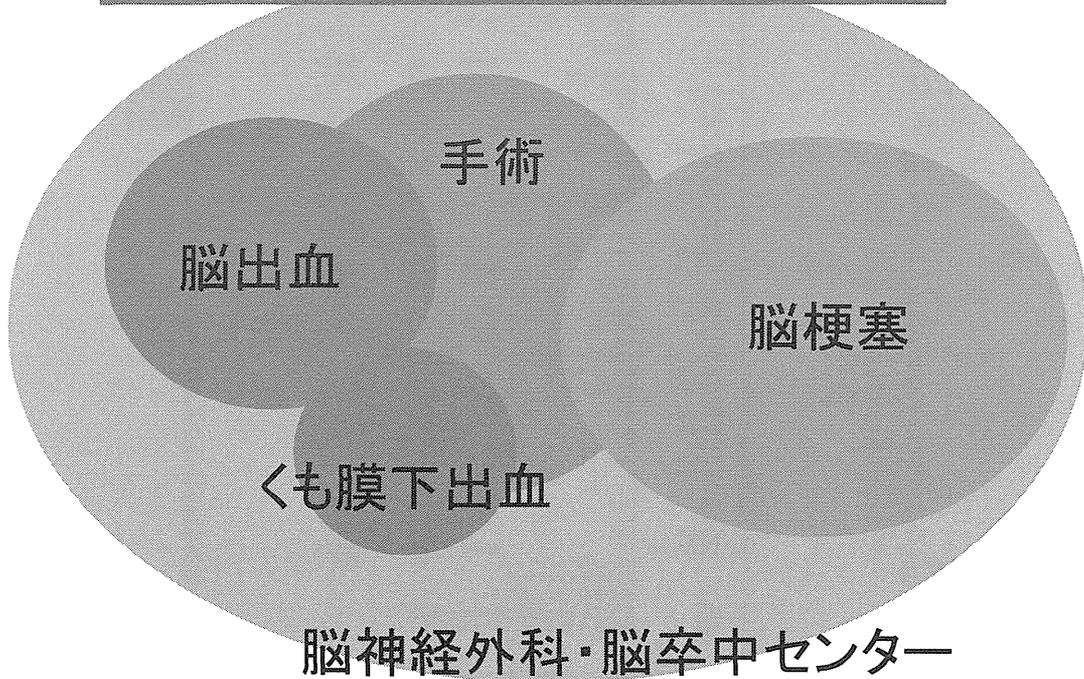
脳卒中センターの設立 2012~ 当初の予定

共通の診療基準



脳卒中センターの設立 2012~ 実際の稼働

共通の診療基準



ファイル名: 編集 (C)

閉じる 全文書展開 英単語選択 図表文書展開 項目操作

リスト 0006810

- 入院:退院
- 外未検査
- 外未検査検査
- 外未送方
- 点検の予定
- 病棟検査
- 入院検査
- 入院送付
- 他科検査
- 処方
- ICU採血
- NST採血
- 病室中検査
- 手術同意書
- 術前
- 1日処方
- 検査結果中入院
- 入院登録用伝票
- 入院登録
- ラック検査
- アテローム血栓性脳梗塞
- 脳梗塞検査
- 心電図検査
- 脳出血
- くも膜下出血
- 体位別点検
- 点滴メイン
 - ~40kg/1000ml
 - 41~60kg/1500ml
 - 61~80kg/2000ml
 - 81~100kg/2500ml
- マニュアル
 - ~40kg
 - 40~60kg
 - 60~80kg
 - 80~100kg
- ワレセロール
 - ~60kg
 - 50~70kg
 - 70kg~
- アブギオ-CTA
- 脳梗塞検査
- 脳梗塞検査専用
- 共通
- 他科検査

指示: 序編時 2013/09/23(月) 09:27 脳外科 2北 国保7本
 終了時間【日未定】
 1 強麻時:ロキソニン1T
 2 強麻時:インダシン60mg
 3 強麻時:アタラックスP 25mg 静注
 毎日
 指定なし

【予約が必要】 脳外科 2北 国保7本
 撮影区分 脳部系
 部位 脳部
 体位 標準方向
 方法 単純
 検査目的 発症翌日フォロー
 区分 通常
 妊娠有無 無
 移動形態 スリッチャー
 読影 読影不要
 身長 152.0
 体重 50.6
 体表面積 1.454

【MRI-M】 脳外科 2北 国保7本
 【日未定】
 撮影区分 脳部系
 部位 脳部MRI
 体位 標準方向
 方法 単純
 撮影コメント 造影剤投与後追加
 撮影コメント 予約部外線部より
 検査目的 発症翌日フォロー
 区分 通常
 閉鎖時特徴 無
 体内金属 無
 喘息 無
 移動形態 スリッチャー
 妊娠有無 無
 読影 読影不要
 身長 152.0
 体重 50.6
 体表面積 1.454

入院臨時注射 2013/09/23(月) 脳外科 2北 国保7本
 終了時間 2013/09/23(月)
 点滴薬剤 メイン 脳管1
 オザグレルNa静注液40mg「日医工」
 ◆大塚生食注2ポート(100ml)
 用法 1日2回
 速度m 時間当たり
 速度時 交換サイクル
 実施場 2階北病棟
 田中 2013/09/23 日

4 床
 CD
 ESSL
 GES
 医師

新規処方 過去3日以降 本日のみ 本日以降 簡易表示 確定 閉じる

↑エディタに未展開のオーダーは常に表示されます。 印刷 7日出力

227 / 300

Prp	項目	指示内容	数量	単位	開始時刻	終了時刻	3/14(土)	3/15(日)	3/16(月)	3/17(火)	3/18(水)	3/19(木)	3/20(金)	3/21(土)	3/22(日)	3/23(月)	3/24(火)	3/25(水)	3/26(木)
1	手技	点滴薬剤 メイン 脳管1	6	A															
	薬品	<抗血栓薬>アルガトロバン注身	1	フク						50	50								
	用法	◆生理食塩液250mL 1日1回																	
速度m	時間当たり	50	ml/h																
速度時	交換サイクル	5.0	時間																
実施場	2階北病棟																		
2	手技	点滴薬剤 メイン 脳管1	1	A															
	薬品	<抗血栓薬>アルガトロバン注身	1	キット									100						
	用法	◆大塚生食注2ポート(100ml) 1日2回																	
速度m	時間当たり	100	ml/h																
速度時	交換サイクル	1.0	時間																
実施場	2階北病棟																		
3	手技	点滴薬剤 メイン 脳管1	1	キット						200	200	200							
	薬品	エタラボン点滴静注液バッグ30ml	1	キット															
	用法	1日2回																	
速度m	時間当たり	200	ml/h																
速度時	交換サイクル	0.5	時間																
実施場	2階北病棟																		
4	手技	点滴薬剤 メイン 脳管1	1	フク						20	20	20							
	薬品	低分子デキストラン注(250ml)	1	フク															
	用法	側管より24時間まで																	
速度m	時間当たり	20	ml/h																
速度時	交換サイクル	12.5	時間																
実施場	2階北病棟																		
5	手技	点滴薬剤 メイン 脳管1	150	ML						150	150	150	150						
	薬品	ヒンセオール液300	1	回															
	用法	1日3回																	
速度m	時間当たり	150	ml/h																
速度時	交換サイクル	1.0	時間																

5A4
 2北
 入院
 検査
 他科検査
 シュー
 サマリ
 子室外
 ロール
 病棟

結果

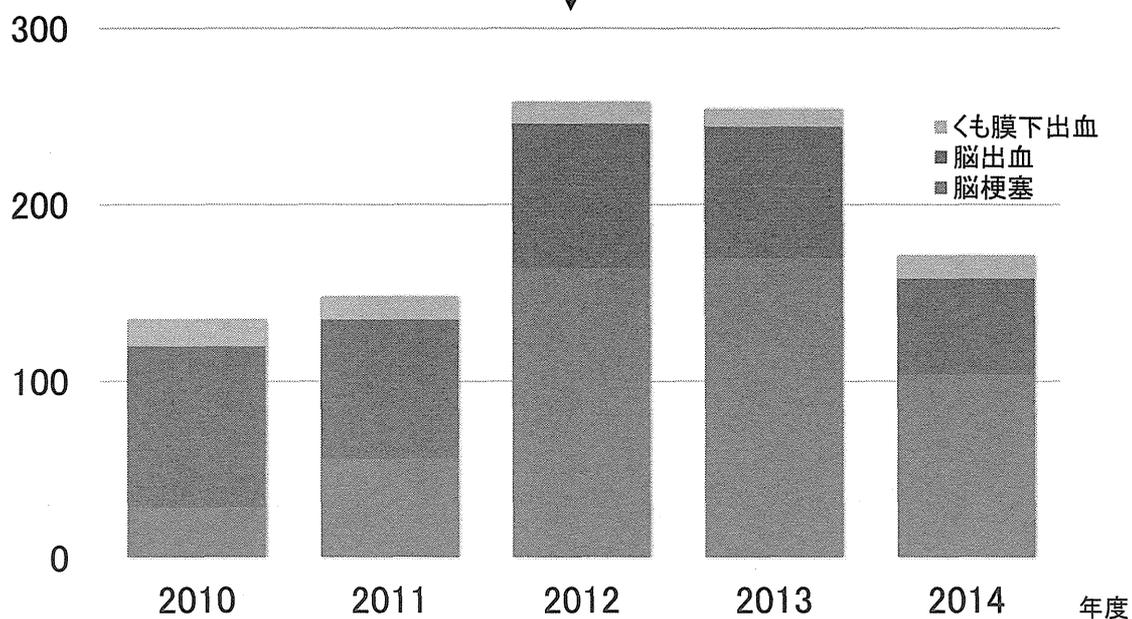
脳卒中診療の質の向上がえられたか

脳卒中による入院 N4病院・脳卒中センター

(2010.4.1~2014.12.31)



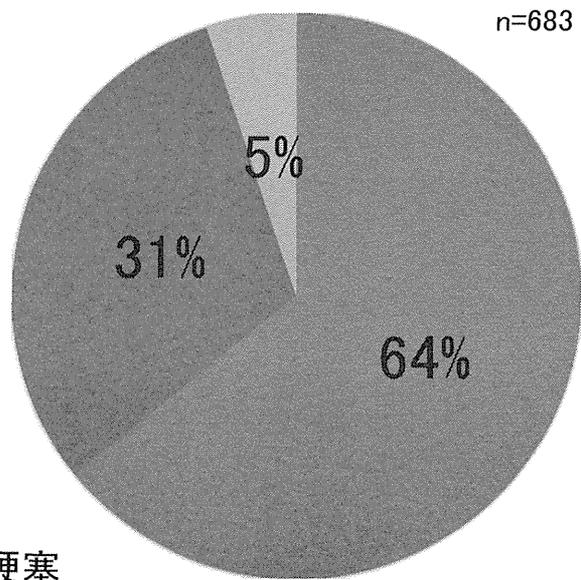
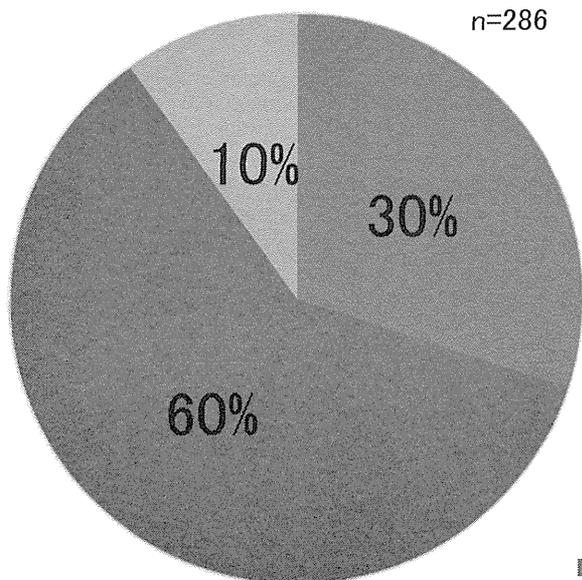
脳卒中センター開設



脳卒中による入院 N4病院・脳卒中センター

(2010.4.1~2011.3.31)

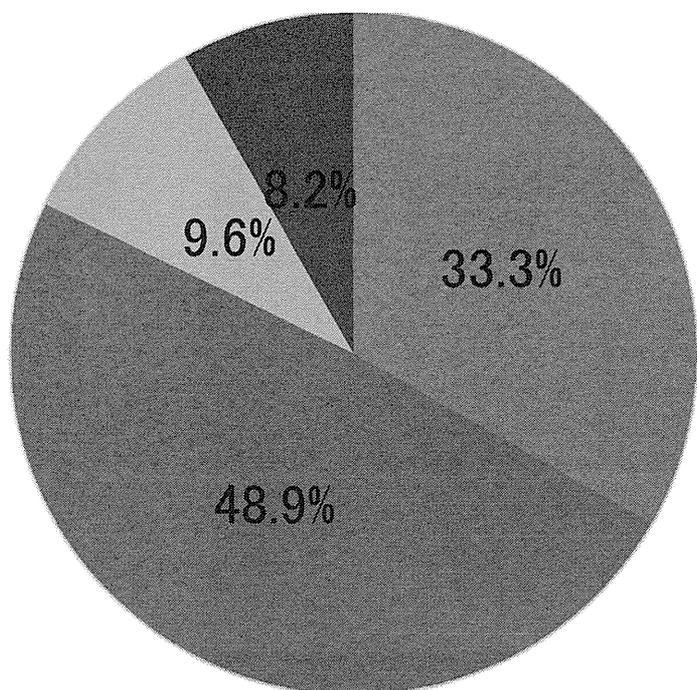
(2012.4.1~2014.12.31)



- 脳梗塞
- 脳出血
- くも膜下出血

脳梗塞入院患者の内訳

(2010.4.1~2014.12.31)



n=523

- アテローム血栓性
- ラクナ梗塞
- 塞栓症
- その他・不明